

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 児童虐待多機能型事業所 とくいんくる 保育所等訪問 | | | | |
|--------------------------------|--|----|-----|---|
| 公表日 令和7年2月20日 | | | | |
| 実・体 制整 善 | チェック項目 | はい | いいえ | 工具していると思う。改進が必要だと思われる点など |
| 1 | 訪問支援に使用する場合の教科教材は適切であるか。 | 6 | 0 | ・様々な教科教材がある中で、その中から子どもに合ったものを選ぶことができる。 |
| 2 | 利用希望者に対して、職員の配置は適切であるか。 | 6 | 0 | ・適切な職員配置がされていると思う。 ・完全個別指導なので、利用者様1名に対し職員1名でいます。 |
| 3 | 基準改修を始めた後のDCA・サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 6 | 0 | |
| 4 | 保護者向け評価表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。 | 6 | 0 | ・事前の聞き取りや個別面接を通して、職員で周知しております。 |
| 5 | 保護者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 0 | ・意見を伝える場があることで、アドバイス等をもらうことでき、基準改修を意識した取り組みを行うことができていると思う。 |
| 6 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 6 | 0 | |
| 7 | 職員の質問の意向を回るために、研修を受ける機会や法人内導入研修を開催する機会が確保されているか。 | 5 | 1 | ・十分に研修が開催されているため、自らの質問意向につながっていると思う。 ・外部研修に参加し、後継研修を行う事で、職員の質問意向につなげています。 |
| 8 | 個人のことに応じてアドバイスを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保護所等訪問支援計画を作成しているか。 | 6 | 0 | |
| 9 | 受けなくとも、こどもの発達に関する職員は、児童福祉士の下で、こどもの発達の特徴を考慮した研修を行っているか。 | 6 | 0 | |
| 10 | 保護所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担当者の意向を盛り込んでいるか。 | 6 | 0 | ・訪問先施設や担当者の意向も大事にしながら作成できていると感じる。 |
| 11 | 保護所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | 0 | |
| 12 | こどもの適切行動の実現、標準化されたツールを使用してフォーマルなセミナーと、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントと、日々の行動観察などにより確認しているか。 | 6 | 0 | |
| 13 | 保護所等訪問支援計画の具体的な内容も読みながら、具体的な支援内容が詰まっているか。 | 6 | 0 | |
| 14 | 保護所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | 0 | ・自分の中の不明、不安な点を打ち合わせしたり話し合いで確認すること、チームで連携して取り組んでいます。 |
| 15 | 児童相談所は各自で手書きを行い、そのまま記録する支援の内容と役員分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 5 | 1 | ・それぞれの担当者が取り組み、共働きすることで次回の支援ではどうぞと書きを検討することができます。 |
| 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、そのまま記録する支援の内容と記録を残す方法等を共有しているか。 | 6 | 0 | |
| 17 | 保護所等訪問支援を実施する際、訪問先の理由や支援手法を尊重して支援を行っているか。 | 6 | 0 | ・記録を徹底していることで、見直すことがきるので、支援の改進のためにどうすべきかを考えやすい。 ・実際に記録の記録だけではなく、カンファレンスの内容も入力している點、書類の種類や訪問先職員の感想も読み取ることが出来ると思います。 |
| 18 | 毎回の支援と開いて、記録を残すことを行ない、支援の検証・改進に努めているか。 | 6 | 0 | |
| 19 | 定期的に保護者や訪問先の意図やモニタリングを行い、保護所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な道筋をしていくか。 | 6 | 0 | |
| 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者や係員間等との会議に、そのことの状況よく理解した者が参画しているか。 | 6 | 0 | |
| 21 | 地域の保健、医療、（主治医や能力発達測定）、障害福祉、教育の連絡機関と連携して支援を行なう体制を整えているか。 | 6 | 0 | |
| 22 | 就学時の移行段階には、小学校や特別支援学校（小学校）との間で、支援内容の連携や情報交換を行なう体制を整えているか。 | 6 | 0 | ・外部研修に参加した職員から研修報告を受けれる機会も充実しているので、情報共有ができます。 |
| 23 | 職員の向上をためめ、積極的に部門間や専門機関等に勤務を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 6 | 0 | |
| 24 | 自立支援組織の子どもや地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | 5 | 1 | ・書類や担任を組みして、保護所等訪問支援計画で子どもたちの様子は伝えているが、自立から伝えていくことは難しいので対応を検討したい。 |
| 25 | 日々からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について連絡と理解を持ちているか。 | 6 | 0 | |
| 26 | 家庭での活動や外出の際は回向を統括から、家族に対して家族支援プログラム（アレンジ・トレーニング等）や家庭等の参加できる研修の機会情報を提供しているか。 | 6 | 0 | |
| 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | 0 | ・サービス開始時に訪問内容と日程を訪問先に説明しております。 |
| 28 | 訪問先施設に対する、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。 | 6 | 0 | |
| 29 | 保護所等訪問支援計画を作成する際に、こどもや保護者の意図の尊重、こどもの最高の利益の原則や児童の権利を踏まえて、こどもや家庭の意向を確認する仕組みを設けているか。 | 6 | 0 | ・サービス開始時に説明を、署名をいただいたりあります。 |
| 30 | 「専用荷物問題対策」をはじめとする室内の説明を行い、保護者から保護所等訪問支援計画の同意を得ているか。 | 6 | 0 | |
| 31 | 定期的に家族会から子育ての悩みに対する相談に適切に応じ、必要な情報と支援を行っているか。 | 3 | 3 | ・なかなか嬉しいことだと感じるの、保護者に意見を求みたい。 |
| 32 | 父母の介助の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者と士気を高める機会を設けるのを実践しているか。また、さとうきびトピック文書などを通じて保護者を育む支援を行っているか。 | 6 | 0 | |
| 33 | こどもや保護者の心の相談やお問い合わせについて、対応の体制を整備するなど、保護者と接する機会を増やすなどの実践を行っているか。 | 6 | 0 | ・QRコードを読み取るだけで、活動の様子（写真）を見ることができるなど、保護者の手間を減らすための効果が大きいでいる感じ。 |
| 34 | 定期的・適時の連絡や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | 0 | |
| 35 | 個人情報の漏洩に十分注意しているか。 | 6 | 0 | |
| 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | 0 | ・訪問先からの電話等に丁寧にし、連絡して子どもの成長につながる支援を行っている。 |
| 37 | 訪問支援に従事し、訪問先からの相談等に適切に応じて体制を整え、必要な助勢や支援を行っているか。 | 6 | 0 | ・必ずカンファレンスを行い、その日の子どもたちの様子を伝えたり、園生活の様子を聞いたりと有意義な時間となっている。 |
| 38 | 保護所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。 | 6 | 0 | ・写真を通して分かりやすく伝えることを意識している。 |
| 39 | 保護所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。 | 6 | 0 | ・訪問時にカンファレンスを行っております。 行動分析を行い、「どうして?」「なぜ?」を量論化して伝えています。 |
| 40 | 個人情報の適切に十分注意しているか。 | 6 | 0 | |
| 41 | 訪問先施設から相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な知識をもつて行っているか。 | 5 | 1 | ・各マニュアルを整備しております。 |
| 42 | 事務的、マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を実施し、職員や家族等に周知するとともに、先生を主とした訓練を実施しているか。 | 6 | 0 | |
| 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な機器や訓練、その他必要な措置を実施する等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | 0 | |
| 44 | ビデオリソースを専門内で共有し、再教育に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | 0 | ・年3回、虚偽的正解率をセンター内で行っております。 |
| 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | 0 | |
| 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決めて、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童虐待法上面に記載しているか。 | 6 | 0 | |